

□ 主な内容

【平成 27 年版交通政策白書の関係資料公表！】

国土交通省では、6 月 9 日に閣議決定、国会報告された、平成 27 年版交通政策白書の関係資料を公表しました。

【第 5 回地域の交通環境対策推進者研修会募集開始！】

平成 27 年 10 月 28 日 (水)～30 日 (金) の 3 日間、藤沢市を研修地域として実施します。意欲のある方々の参加を期待しています。

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 107 回)

●「日本のカーフリーデーと交通政策の進展にむけて」

【一般社団法人カーフリーデージャパン 代表理事 望月 真一】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 107 回)

●「暮らしを支える地域公共交通の実現を目指して」

【飯能市企画総務部企画調整課 主幹 西島 正樹】

3. ニュース／トピック

●「平成 26 年度交通の動向」及び「平成 27 年度交通施策」(交通政策白書)について【国土交通省】

●まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の案件募集について【国土交通省】

●「超小型モビリティの導入促進」事業の対象案件の決定について【国土交通省】

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【国土交通省】

●平成 27 年地域公共交通優良団体表彰について【国土交通省】

●第 12 回エコプロダクツ大賞募集開始【エコプロダクツ大賞推進協議会】

●分散型電源として活用可能な次世代自動車の普及促進事業について【東京都】

●電気自動車等の利用を促進するための充電インフラの整備支援について【新潟県】

●平成 27 年度「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体の募集について【愛知県】

●電気自動車本格普及に向けた日産自動車株式会社との協定締結について【横須賀市、日産自動車株式会社】

●超小型電気自動車による郵便集配作業の実証実験の開始について【名古屋市、日本郵便株式会社東海支社、トヨタ車体株式会社】

- 「久留米市コミュニティサイクル」運用開始について【久留米市】
- デマンド交通利用者登録申請の受付開始について【三芳町】
- 「なまら便利なバスマップ」(第9版)「2015年夏ダイヤ版」および函館市公共交通路線図「なまらイカしたバスマップ」配布について【NPO 法人ゆうらん】
- 超小型電気自動車を「移動する電源」として活用するエコ移動システムの運用開始について【株式会社デンソー】
- 路線バスを活用した宅急便輸送「貨客混載」の開始について【岩手県北自動車株式会社、ヤマト運輸株式会社】
- コンビニ業界初の超小型 EV シェアリングサービス「Ha:mo RIDE(ハーモライド)」のステーション設置開始について【株式会社サークル K サンクス】
- ヨーロッパ全域で展開された電気自動車助成プログラムの最終会議を開催【ドイツ連邦経済エネルギー省】

4. イベント情報

- 第5回地域の交通環境対策推進者研修会(藤沢市)【2015/10/28-30】
- シンポジウム「自転車活用推進法を徹底解剖する」【2015/6/25】
- 2015 夏 LRT フォーラム「LRT で街はどう変わる? ~横浜都心臨海部導入に向けて~」【2015/7/4】
- 交通・観光カーボンオフセット支援システム 説明会【2015/7/21】
- 公開コロキウム「未来の都市とパーソナルモビリティの可能性」【2015/7/23】
- 第10回日本モビリティ・マネジメント会議【2015/7/24-25】
- 第22回 ITS 世界会議ボルドー2015【2015/10/5-9】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015【2015/10/24-25】
- 第13回 ITS シンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクツ 2015(第17回)【2015/12/10-12】

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています!
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています!
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています!
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています!
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- 平成 27 年度エコドライブ活動コンクールへの参加者を募集しています!
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています!
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています!
- 記事募集中!

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 107 回)

●「日本のカーフリーデーと交通政策の進展にむけて」

【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン 代表理事 望月 真一】

ヨーロッパ委員会から、モビリティウィーク&カーフリーデー*の日本担当コーディネーターに指名され、日本での普及活動を始めて 11 年が過ぎました。当初は、カーフリーデーを通して日本の交通政策の状況が少し変わるかもしれないと期待しましたが、残念ながら、現在に至るまで、ほとんど変化を起こせていません。

本場のヨーロッパでは、環境問題が重要な政策課題であるため、モビリティウィーク&カーフリーデーは、環境政策における交通政策の象徴的な中心事業と位置づけられています。ヨーロッパでは、自家用車からの CO2 排出量が日本の倍程度(日本は全体の約 1 割)占める国が多いため、より真剣に取り組まれているということもあるのですが、その交通政策の進展には目覚ましいものがあります。

一例を挙げると、私が注視しているフランスでは、都市交通政策は、常に予測が裏切られるほど進化を続けています。その中でも、トラム導入を活用して街の再興に成功したストラスブールでは、トラムネットワークがほぼ完成したにも関わらず、すでに次の事業が始められています。それは、一連の都市交通政策により、中心部に人が集まりすぎたために、歩行空間の不足が懸念されるというもので、将来を見通した新しい公共交通整備計画では、中心部に用事のない人を中心に通らせないという公共交通の迂回路を整備することになっています。また、この数年の自転車の増加にも目を見張るものがあり、2007 年にフランスの新幹線 TGV がパリとつながった際、駅前広場が一面芝生となりましたが、今ではそれが 1000 台を超える自転車で埋まってしまいそうです。毎年、様々な場所で新しい整備・シーンが見られ、以前は不可能と考えられた 20 万人規模の都市でもトラムの導入が進み、もうすぐ 30 都市に迫るほどです。こうした状況は、我々のブログに毎年報告していますので、参照していただければと思います。(<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan>)

日本でもこのような成果がいつか見られるように、今後も、モビリティウィーク&カーフリーデーの普及に努めたいと思っております。

*カーフリーデー(「まちなかでは車から解放されましょう」という意味合い)は、毎年 9 月 22 日に世界の約 2,000 都市で行われている交通と環境のイベントです。モビリティウィークは、カーフリーデーの前後一週間に都市交通を考える交通週間として位置づけられています。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 107 回)

●「暮らしを支える地域公共交通の実現を目指して」

【飯能市企画総務部企画調整課 主幹 西島 正樹】

埼玉県飯能市は、少子高齢化や市民のマイカー依存などを理由に路線バスの利用者は減少傾向にあり、路線バスの維持確保が最重要課題となっています。

そうした中、平成 24 年度に有識者やバス事業者、地域住民、関係機関の各代表による任意の協議会を設置し、平成 26 年 3 月に「暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして～市・交通事業者・地域が協働して『まもる・育てる・つくる』公共交通～」を基本方針とした「飯能市地域公共交通基本計画」を策定し、計画に基づき、路線バスの維持確保に向けた取組を進めています。現在実施している主な取組を紹介します。

1. バス事業者 3 社共通のバスルートマップの作成

多くの方にバスを知っていただき、「移動手段として選ばれる」バスを目指して 3 社のバスルートやバスの乗り方、公共施設・観光施設を掲載したバスルートマップを平成 26 年 3 月に作成し、各公共施設等や本市への転入者に配布しています。

2. 公共交通ニュースの発行

多くの方にバスに関心を持っていただくことを目的に、バスの現状やバスを利用したイベント情報などを内容とした「公共交通ニュース」を作成し、市ホームページに定期的に掲載しています。

3. 地域住民が主体となったバス利用促進策の検討

路線バスが減便や廃止になって 1 番困るのは地域の方々です。そのようなことから地域の方々を中心となって、バスを利用する方策や、観光客をはじめとする来訪者にバスを利用していただくための取組を実施しています。

その他、車両乗り入れ禁止やバス停留所を集合場所にした「エコツアー」の実施、車内に写真や小中学生の絵を展示するギャラリーバスの運行、本市を舞台にしたアニメを活用したラッピングバスの運行など、バス事業と市で連携協力のもとに実施しています。

また、バス事業者も近距離区間を大人 100 円、子ども 10 円とした「ワンコインゾーン」の実証運行をしています。

路線バスは、市民が安心して地域での生活を続けていくために欠かせない重要なライフラインです。今後も市・交通事業者・地域の協働により、路線バスを「まもる・育てる・つくる」取組を進めてまいります。

3. ニュース／トピック

●「平成 26 年度交通の動向」及び「平成 27 年度交通施策」(交通政策白書)について【国土交通省】

国土交通省では、6月9日に閣議決定、国会報告された、平成27年版交通政策白書の関係資料を公表しました。交通政策白書は、交通政策基本法(平成25年法律第92号)第14条第1項及び第2項の規定に基づき、交通の動向及び政府が交通に関して講じた施策並びに交通に関して講じようとする施策について、毎年、国会に報告するものであり、今回が初めての白書となります。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000079.html

●まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の案件募集について【国土交通省】

国土交通省では、低炭素社会の実現に向けて、まち・住まい・交通の一体的な創蓄省エネルギー化を推進するため、都市規模、地域特性等に応じたモデル構築を図っていきます。この度、地方公共団体、民間事業者等による先導的な構想策定を支援するため、案件募集を行っています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000110.html

●「超小型モビリティの導入促進」事業の対象案件の決定について【国土交通省】

国土交通省では、新たな外出・移動のきっかけをつくる超小型モビリティを活用し、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを通じて地域振興・観光振興を図る観点や、成功事例の創出、国民理解の醸成を促す観点から、地方公共団体等の主導によるまちづくり等と一体となった先導導入や試行導入の優れた取組みを重点的に支援する「超小型モビリティの導入促進」事業を実施しています。この度、応募のあった事業計画について、本事業の支援対象とする案件を決定、公表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000146.html

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【国土交通省】

国土交通省では、環境性能に特に優れた電気自動車の普及を効果的に加速し、低炭素まちづくりや地域・交通事業のグリーン化を推進する観点から、先駆的事业を行う自動車運送事業者等を重点的に支援する「地域交通グリーン化事業」を実施しています。この度、応募のあった事業計画について、外部有識者による評価結果も踏まえて選定し、本事業の支援対象とする案件を決定、公表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000145.html

●平成 27 年地域公共交通優良団体表彰について【国土交通省】

国土交通省では、地域公共交通に関する取組みが他地域の模範となるような功績がある団体表彰することで、優良事例の情報提供等を図ることを目的に、地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰を実施しており、今年度の受賞団体 5 団体を発表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo03_hh_000150.html

●第 12 回エコプロダクツ大賞募集開始【エコプロダクツ大賞推進協議会】

エコプロダクツ大賞推進協議会は、環境負荷の低減に配慮したすぐれた製品・サービスを表彰する「第 12 回エコプロダクツ大賞」を実施します。本表彰は、すぐれたエコプロダクツを表彰することを通じて、エコプロダクツの供給者である企業等の取組みを支援し、わが国におけるエコプロダクツの開発・普及の促進を図るとともに、エコプロダクツに関する正確な情報を需要者サイド(事業者、消費者等)に広く伝えることを目的にしています。

http://www.gef.or.jp/ecoproducts/12th_bosyu.htm

●分散型電源として活用可能な次世代自動車の普及促進事業について【東京都】

東京都では、環境負荷が低く、非常時の電源としても活用可能な次世代自動車の普及に向け、中小事業者による外部給電可能な電気自動車やプラグインハイブリッド車等の導入を支援します。

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2015/06/20p63300.htm>

●電気自動車等の利用を促進するための充電インフラの整備支援について【新潟県】

新潟県では、電気自動車等の利用を促進するため、充電インフラの整備を支援しています。今年度は、災害時における非常用電源や再生可能エネルギーの変動吸収など電気自動車等や充電器が有する機能を多方面で活用するため、補助対象に蓄電機能や給電機能を有する充電器を加え、事業募集を行います。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356808893917.html>

●平成 27 年度「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体の募集について【愛知県】

愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の推進に取り組んでおり、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」を中心に、「エコモビ」の普及啓発をはじめとした様々な取組を行っています。取組の一環として、「エコモビ」推進のための取組や「エコモビ」活動を積極的かつ効果的に行っている団体を表彰する「エコ モビリティ ライフ」推進表彰候補団体を募集しています。

<http://www.pref.aichi.jp/0000083253.html>

●電気自動車本格普及に向けた日産自動車株式会社との協定締結について【横須賀市、日産自動車株式会社】

横須賀市では、平成 22 年より市内産業の発展と低炭素社会実現のため電気自動車の普及促進に取り組んできました。この度、EV の本格普及を進めるため、日産自動車株式会社と連携協定を締結することになりました。この協定の締結により、EV の充電環境の整備に連携して取り組むとともに、EV を活用した先進的な取り組みを行うことで地域活性化につなげることを目指します。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4421/nagekomi/20150603.html>

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2015/_STORY/150603-01-j.html

●超小型電気自動車による郵便集配作業の実証実験の開始について【名古屋市、日本郵便株式会社東海支社、トヨタ車体株式会社】

名古屋市、日本郵便株式会社、トヨタ車体株式会社では、郵便集配作業に 4 台の超小型モビリティを活用する実証実験を 6 月 4 日より開始し、軽自動車よりもコンパクトな車両の使い方やニーズの探索を行います。国土交通省による「超小型モビリティ認定制度」を利用したものであり、集配作業用として認定を受けるのは全国初になります。

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000071/71001/150528jisshojikken.pdf>

http://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2015/08_tokai/0528_01_01.pdf

http://www.toyota-body.co.jp/ps/qn/usr/db/d_file5-0001-0382.pdf

●「久留米市コミュニティサイクル」運用開始について【久留米市】

久留米市では、市民や来街者が、自転車であちを楽しみながら快適に、効率よく移動できるまちとして、「自転車が似合うまちづくり」を推進しています。その取り組みの一つとして、マイカーから環境にやさしい自転車への転換の促進や、自転車を保有していない市民や観光客の新たな移動手段として活用することを目的にコミュニティサイクルの運用開始を行います。

http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1080shisei/2010shoukai/3010shichou/4010kishakaiken_19/files/comunitycycle.pdf

●デマンド交通利用者登録申請の受付開始について【三芳町】

三芳町では、昨年度に引き続き、夏よりデマンド交通「のぞみカー」の運行を実施します。利用の予約に応じて町内各所の設置した共通乗降場間を「乗合」で運行します。

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/news/2015-0526-0817-13.html>

●「なまら便利なバスマップ」(第9版)「2015年夏ダイヤ版」および函館市公共交通路線図「なまらイカしたバスマップ」配布について【NPO 法人ゆうらん】

NPO 法人ゆうらんでは、「なまら便利なバスマップ」(第9版)「2015年夏ダイヤ版」および、函館市公共交通路線図「なまらイカしたバスマップ」の配布を始めました。なお、「なまらイカしたバスマップ」は電子配布のみとなります。

<http://www.yourun.net/publication/namara-map/>

<http://www.yourun.net/publication/namara-map-hakodate/>

●超小型電気自動車を「移動する電源」として活用するエコ移動システムの運用開始について【株式会社デンソー】

株式会社デンソーでは、超小型電気自動車を活用した独立電源ネットワークシステム(Pico Grid System®、ピコグリッドシステム)を開発し、そのシステムを使った構内移動の運用を愛知県安城市の安城製作所で開始しました。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2015/150528-01.html>

●路線バスを活用した宅急便輸送「貨客混載」の開始について【岩手県北自動車株式会社、ヤマト運輸株式会社】

岩手県北自動車株式会社とヤマト運輸株式会社では、バス路線の生産性向上による路線網の維持と物流の効率化による物流網の維持を主な目的として、路線バスで宅急便を輸送する「貨客混載」を開始しました。

http://www.yamato-hd.co.jp/news/h27/h27_18_01news.html

●コンビニ業界初の超小型EVシェアリングサービス「Ha:mo RIDE(ハーモライド)」のステーション設置開始について【株式会社サークルKサンクス】

株式会社サークルKサンクスでは、トヨタ自動車株式会社が実証運用する超小型EV「COMS(コムス)」を使ったシェアリングサービス「Ha:mo RIDE」に協力し、6月15日より愛知県豊田市内の6店舗の敷地内駐車場に車両ステーションをオープンします。

<http://www.circleksunkus.jp/file.jsp?id=28242>

●ヨーロッパ全域で展開された電気自動車助成プログラムの最終会議を開催【ドイツ連邦経済エネルギー省】

ドイツ連邦経済エネルギー省は、ヨーロッパ助成プログラム「Electromobility+」の最終会議を開催しました。プログラムは、道路輸送のグリーン化に関する研究プログラムである「ERANET+」の枠組みで2010年にEUの助成により開始したもので、11の加盟国・地域が参加するものです。国境を越えて展開された18件のプロジェクトによって、ヨーロッパ域内のEV発展のための持続可能な解決策について研究が行われ、最終会議では革新的な製品

開発の成果や EV 発展の方法、ヨーロッパにおける多様な EV 導入支援策について検討しました。

<http://www.bmwi.de/DE/Presse/pressemitteilungen,did=705734.html>

4. イベント情報

● 第 5 回地域の交通環境対策推進者研修会(藤沢市)

日時: 2015 年 10 月 28 日(水)～30 日(金)

場所: 藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール①ほか

主催: EST 普及推進委員会、エコモ財団、関東運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

● シンポジウム「自転車活用推進法を徹底解剖する」

日時: 2015 年 6 月 25 日(木) 18:00～20:00

場所: 弁護士会館 10 階 1003 号会議室

主催: 第二東京弁護士会、環境保全委員会

<http://niben.jp/news/ippan/2015/150609100320.html>

● 2015 夏 LRT フォーラム「LRT で街はどう変わる? ～横浜都心臨海部導入に向けて～」

日時: 2015 年 7 月 4 日(土) 13:30～16:30

場所: 横浜市開港記念会館 6 号室

主催: NPO 法人横浜に LRT を走らせる会、横浜の公共交通活性化をめざす会

<http://lrt.cocolog-nifty.com/yokohama/2015/06/post-ee03.html>

● 交通・観光カーボンオフセット支援システム 説明会

日時: 2015 年 7 月 21 日(火) 13:30～16:00

場所: アルカディア市ヶ谷 6 階「伊吹(東)」

主催: エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_15.7.21.pdf

● 公開コロキウム「未来の都市とパーソナルモビリティの可能性」

日時: 2015 年 7 月 23 日(木) 14:00～16:00

場所: 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

主催: 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

<http://www.glocom.ac.jp/events/1040>

- 第 10 回日本モビリティ・マネジメント会議
日時:2015 年 7 月 24 日(金)、25 日(土)
場所:東洋大学 白山キャンパス
主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議
<http://www.jcomm.or.jp/>

- 第 22 回 ITS 世界会議ボルドー2015
日時:2015 年 10 月 5 日(月)~9 日(金)
場所:Congre et Expositions de Bordeaux
主催:TOPOS
<http://itsworldcongress.com/>
http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/bordeaux_2015/

- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015
日時:2015 年 10 月 24 日(土)~25 日(日)
場所:東洋大学白山キャンパス 1 号館ほか
主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会
<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

- 第 13 回 ITS シンポジウム 2015
日時:2015 年 12 月 3 日(木)、4 日(金)
場所:首都大学東京
主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京
http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/

- エコプロダクツ 2015(第 17 回)
日時:(1 日目)2015 年 12 月 10 日(木)10:00~18:00
(2 日目)2015 年 12 月 11 日(金)10:00~18:00
(3 日目)2015 年 12 月 12 日(土)10:00~17:00
場所:東京ビッグサイト 東ホール
主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社
<http://eco-pro.com/2015/>

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

- 平成 27 年度エコドライブ活動コンクールへの参加者を募集しています！

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>